



ドームA・B棟



ドームA棟の中



王墓の上石

### 利用案内

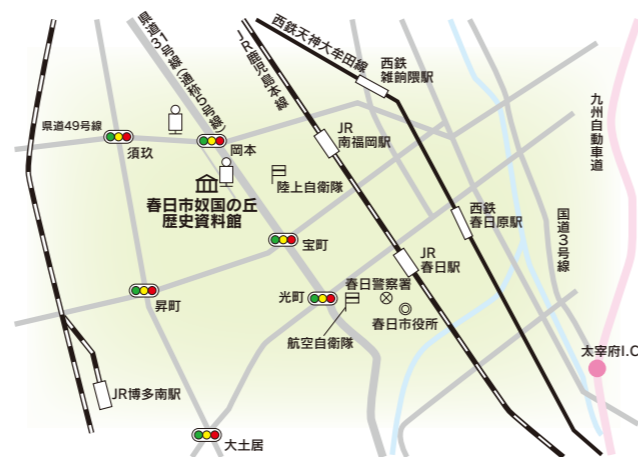
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎月第3火曜日(その日が祝日の場合は、その翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)

駐車場 22台(無料)

お願い 敷地内は禁煙です。

### 交通案内



- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅から徒歩24分(1.8km)
- JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩20分(1.5km)
- 九州自動車道 太宰府I.C.から5.6km(渋滞なしで約20分)
- 春日市コミュニティバス
  - ①桜ヶ丘線 奴国の丘歴史資料館前下車すぐ
  - ②須玖線 岡本1丁目下車徒歩7分(500m)
- 西鉄バス 岡本(45-1系統)下車徒歩4分(300m)



# 奴国の王都

## 春日市 奴国の丘歴史資料館

〒816-0861 福岡県春日市岡本3丁目57番地  
TEL(092)501-1144 FAX(092)573-1077

## 春日市 奴国の丘歴史公園



国指定史跡である須玖岡本遺跡すくおかもとの一角につくられた奴国の丘歴史公園には、弥生時代やよひの甕棺墓かめかんぼなどを発掘調査時の状態で展示しているドームがあります。

また、公園内には奴国王の甕棺墓を覆っていた王墓おうぼの上石うわいしも移設して展示しています。



春日市は弥生時代の遺跡の宝庫である。  
 王墓が存在し、青銅器などの生産工房が  
 密集する須玖岡本遺跡とその周辺は、奴国  
 の中心地であったと推定される。

## 王墓

明治32年、須玖岡本遺跡の一角で偶然発見された甕  
 棺墓には、30面前後の中国鏡、銅剣や銅矛などの青銅  
 武器、ガラス製の璧や勾玉など多数の副葬品が納めら  
 れていた。この甕棺墓は集団墓から離れて単独で存在  
 することや、副葬品の質・量などから、奴国王の墓と考  
 えられている。中国の皇帝から「漢委奴国王」の金印を  
 授かったのは、この被葬者より数世代後の王である。



■展示ホール ジオラマ「奴国王墓」

## 奴国の生産工房

王墓の北側一帯には青銅器やガラス製品を生産して  
 いた工房跡が集中して発見されている。当時の先進技  
 術が結集したこの地は、弥生時代のテクノポリス（高度  
 技術集積都市）と呼ぶにふさわしい。

須玖岡本遺跡の周辺からは、銅剣、銅矛、銅戈、銅鏡、  
 小銅鐻、銅鏃などの鋳型や、坩堝や銅滓などの青銅器生  
 産関係の遺物が多量に出土しており、鉄器生産を示す  
 遺跡も見つかっている。



■展示ホール ジオラマ「青銅器生産工房」

# 古代への時間旅行



ほうかくきぎょう  
方格規矩鏡



すえき  
須恵器



ガラス勾玉と小玉



きんせいすいしよくつきみかざり  
金製垂飾付耳飾



銅矛(個人蔵)



銅矛鋳型



馬具(飾り金具)



のきまるがわ  
軒丸瓦



のきひらがわ  
軒平瓦

■民俗資料展示室



■考古資料展示室



## 日本遺産 古代の日本の『西の都』 ～東アジアとの交流拠点～

国の特別史跡として指定されている大土居・天神山の「水城跡」は、令和2年6月に近隣自治体の文化財とともに、日本遺産「古代の日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点」として認定された。

水城は7世紀に唐・新羅の侵攻に対する防衛線として築造された土塁である。太宰府市から大野城市にまたがる大水城と、その西方の低い丘陵の谷あいには築かれた大土居・天神山の「水城跡」などの小水城がある。



■考古資料展示室 「木樋・剥ぎ取り土層」